

## 小学生低学年の部



### 大切なみんなの水道

東松島市立矢本東小学校 3年 岡元 葵

いつも当たり前のように使っている水道ですが、「だれが作ったか」や「いつからできたか」などが気になりませんか。私は、その水道について調べてみました。

水道は、「とくがわいえやす」が「えどばくふ」を開く時に作りました。できる前は、川やいどの水をくんで使っていましたが、水しつの問題や、えどの人口がきゅうにふえたことで、今の原けいとなる水道しせつが作られたそうです。

めいじ時だいに水道が大きくなりました。その理由は「コレラ」というびょう気のりゅう行で、多くのしぼうしゃが出てしまい、いそいで新しい水道のけんせつがすすめられたからです。

私たちが当たり前のように使っている日本の水道は、せかいてきに見るととてもすごいものなのです。もし水道がなかったら、川やいどの水を使いたい所まで自分ではこばなくてはなりません。水道がなかったむかしの人は、それを毎日何どもしていましたが、とても大へんなし事でした。また、川からちよくせつはこんだ水を使うのは、びょう気の面での心ばいもあります。水がじょう水場で十分にきれいにされることがなく、その水をのんでしまうと、おなかがいたくなったりコレラにかかってしまう心ばいがあります。

私は、「安心して水が使える」ということは、じつはともしあわせなことなのだと気づきました。

その水道を私は、たまにむだ使いをしてしまいます。お風呂に入って、おけにお湯をたくさんくんで、バシャバシャとながしてしまった時など、もったいない使い方だったのかなと今思います。学校では、手をあらう時にたまに水を出したままにしている子を見たことがあります。

だから、みんながむだ使いしないという気持ちをもって使えたら、すごいりょうの水をせつやくすることができるはずです。

みんなで水を大事に使えるように、声をかけ合っていけたらよいなと思います。

この作文を書くことで、ふだんの自分の行いをふり返ることができて、とてもよいきっかけになりました。